

## 発寒ひかり 保育園だより

2023年  
10月号

### 巻頭言

今年、四年ぶりにホールで野菜バイキングを行いました。子どもたちが園の畑で育てている野菜をたくさん取り入れたメニューで、いつもより品数も多い特別な給食。りす組(2歳児)以上の子どもたちがホールに集まり、その特別な給食をみんなと一緒に味わいました。自分たちが育てた野菜が入っていることを喜び、嬉しそうに食べる姿や、苦手なものも頑張って食べようとする姿など、子どもたちの様々な様子を見ることができ、嬉しくなるとともに、野菜バイキングは、子どもたちの食への意欲が高まる大切な行事だと思いました。

七月からは、調理室の職員が子どもたちと一緒に、週に一回程度、お部屋で給食を食べるようになりました。子どもたちは、「ここで一緒に食べよう!」と嬉しそうに迎えてくれます。席に座ると、「この給食おいしいね」、「今日のじゃがいもは、男爵?メークイン?」、「これは、畑で育てたきゅうり?」など、その日の給食についての感想や不思議に感じたことなどたくさんのお話をしてくれます。私の話を聞いて嬉しそうにしている姿や、たくさんおかわりする姿、「きれいに食べられたよ!」とお皿を誇らしげに見せる姿など、今まで知ることのできなかった子どもたちの様子に、喜びとやりがいを感じています。

子どもたちとの交流が増えたことで、給食を作る私たちとの関わりが、子どもたちの食への意欲に繋がっているのだと改めて実感しました。より食への興味を持ってもらえるよう、もっと楽しく食べてもらえるよう、様々な工夫をしながら子どもたちとふれあっていきたいと思っています。

栄養士 越智 晴菜